

第71回 全国課題図書 注文書 【教育関係先行販売】

※一般販売は6月上旬からになります。

いずれか〇して下さい 店売分・客注分・学校採用分

採用校名

注文日 月 日 書店番号

書店名

	出版社	書名	著者	内容解説文	税込価格 (本体価格)	注文数	在庫数
小学校低学年	中央公論新社	ライオンのくにのネズミ	さかとく み雪 作	ライオンのくにに引越したネズミの家族。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らはわかりあうことができるのか？	1,760 (1,600)		
	PHP 研究所	ぼくのねこポー	岩瀬成子 作 松成真理子 絵	ぼくがひろったのは、すてねこなのかな？学校からのかえり道に見つけたねこ。のらねこなのかな？それともすてねこ？ ぼくんちのねこになってくれたらいいな。少年の心の機微を丁寧な筆致で描いた幼年童話です。	1,430 (1,300)		
	ひさかたチャイルド	ともだち	リンダ・サラ 作 しらいすみこ 訳	ぼくとエトは、だいのなかよし。だんボールぼこをおかのうえまでひっぱっていったら、はこのなかにはいてあそぶ。あるひ、しらないおとこのこがなかにいれてほしいとやってきた。エトは「いいよ！」っていったけど、ぼくのほんとうのきもちが…。	1,760 (1,600)		
	アリス館	ワレワレはアマガエル	松橋利光 文・書 画	カエルと聞いて思いうかぶのは？びよこんと目が出て、緑色の・・・そう、ワレワレ、アマガエルだろう！ 体のしくみや、産卵からおたまじゃくし、冬眠までを、アマガエルたちの自己紹介で、楽しく見せます。	1,870 (1,700)		
小学校中学年	あかね書房	ふみきりペンギン	おくはらゆめ 作・絵	ゆうとはペンギンの話を、るりは白いヘビのうわさを、ななこは鏡のライオンを、そうすけはフクロウの古いを、聞いたり、見たり、かんじたり…。「ふつうとは？」を決めつけず、それぞれの自分らしさを肯定する、ある町の小学三年生の物語。	1,430 (1,300)		
	文研出版	バラクラバ・ボーイ	ジェニー・ロフソン 作 もりうちすみこ 訳	バラクラバ帽をかぶった転入生のトミーがやってきた。なぜトミーは帽子をかぶってるの？あの帽子の下には何がかくされている？ぼくとドゥミサニのたいくつな日々は、「バラクラバ・ボーイ」によって大きく変わったんだ。	1,540 (1,400)		
	童心社	たった2℃で… 地球の気温上昇がもたらす環境災害	キム・ファン 文 チョン・ジンギョン 絵	地球の平均気温が2℃あがると、環境災害がはじまる。人間は、野外活動ができなくなる。海の魚たちの大量死、大移動がおこる。海の生きものの種の25%がくらすサンゴ礁がきえる。虫が、ばくはつてきにふえて生態系の混乱がおこる。そして…	1,980 (1800)		
	河出書房新社	ねえねえ、なに見てる？	ビクター・ベルモント 絵と文 金原瑞人 訳	多様性と他者理解について知るSDGs 絵本。科学者のママ、ゲーム好きのパパ、音楽家のおじさん… 同じ場にも、見ているもの、その見え方はまったくちがう！？きみには、どんなふうに見えてる？	1,793 (1,630)		
小学校高学年	講談社	ぼくの色、見つけた！	志津栄子 作 末山りん 絵	トマトを区別できない、肉が焼けたタイミングがわからないことから、色覚障がいが発覚し苦しむ信太郎。眼科の先生は個性のひとつと言うけど、まわりがそうはとらえてくれない…。自分の「世界の見え方」に向き合い、自分なりの「光」を見つけていく物語。	1,650 (1,500)		
	徳間書店	森に帰らなかったカラス	ジーン・ウィリス 作 山崎美紀 訳	人々の心に第二次世界大戦の傷あとが残る、一九五〇年代のイギリスを舞台に、少年が動物とふれあい成長するすがたを描く。 ロンドン動物園の元主任飼育員の少年時代の実話にもとづく、心あたたまる児童文学。	1,760 (1,600)		
	ほるぷ出版	マナティーがいた夏	エヴァン・グリフィス 作 多賀谷正子 訳	11歳の夏休み、ピーターはすべてうまくやれるはずだった。「生き物発見ノート」を完成させ、認知症のおじいちゃんのお世話をし、けがをしたマナティーを守る。それなのに…。変化に向き合う勇気をくれる、ひと夏の成長物語。	1,760 (1,600)		
	岩崎書店	とびたて！みんなのドラゴン 難病ALSの先生と 日明小合唱部の冒険	オザワ部長 著	難病ALSと闘う先生が合唱部の顧問になった。合唱は未経験。大丈夫？でも熱意と子どもたちとの絆で初の全国大会出場金賞受賞に導いた！実話をもとに描く感動の物語。	1,650 (1,500)		
中学校	小峰書店	わたしは食べるのが下手	天川栄人 作	会食恐怖症と摂食障害。人と食事をするのが苦手な葵と、過食嘔吐を繰り返す咲子。ふたりの少女がたどりいた ”わたしたち” なの食との正しい付き合い方とは。わたしたちが望む給食って、いったいなんだろう？	1,760 (1,600)		
	あすなろ書房	スラムに水は流れない	ヴァルシャ・バジャージ 作 村上利佳 訳	インド有数の大都会ムンバイ。12歳のミンニと15歳の兄サンジャイが暮らすスラムには、ムンバイの人口の40%が住んでいるにも関わらず、水は市全体の5%しか供給されていない。ある夜、サンジャイが「水マフィア」を目撃してしまい……。	1,760 (1,600)		
	くもん出版	鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者	竹内紘子 著	人類学者・鳥居きみ子をはじめ描いた人物伝。夫・龍蔵や家族とともに、まるで探検するようなフィールドワークを進めた鳥居きみ子。さまざまな困難に直面しながらも、龍蔵に対する大きな信頼と度胸のよさでつきすすんだきみ子。その生涯をはじめ伝える一冊です。	1,540 (1,400)		
高等学校	実業之日本社	銀河の図書室	名取佐和子 著	県立野亜高校の図書室で活動する「イーハトー部」は、宮沢賢治を研究する弱小同好会だ。部長だった風見先輩は、なぜ突然学校から消えてしまったのか。高校生たちは、賢治が残した言葉や詩、そして未完の傑作『銀河鉄道の夜』をひもときながら、先輩の謎を追っていき一。	1,870 (1,700)		
	作品社	夜の日記	ヴィーラ・ヒラナンダニ 著 山田文 訳	イギリスからの独立とともに、ふたつに分かれてしまった祖国。ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい、傷つけあっていく。少女とその家族は安全を求めて、長い旅に出た。自分の思いをことばにできない少女は亡き母にあてて、揺れる心を日記につづる。	2,420 (2,200)		
	紀伊國屋書店	「コーダ」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて	五十嵐大 著	コーダ（CODA）＝聴こえない／聴こえにくい親のもとで育つ、聴こえる子ども。もし、親の耳が聴こえたらなんて、想像もつかなかった。ときに手話を母語とし、ときにヤングケアラーと見なされて、コーダは、ろう者とも聴者とも違う複雑なアイデンティティを抱えて揺れ動く。	1,760 (1,600)		

青少年読書感想文
全国コンクール

【注文時の注意点】

品切れや減冊出荷の場合でも、店売分については注文保留をいたしません。
再度ご注文をお願いいたします。

集金袋 枚

ポスター 枚 チラシ 枚

千葉県教科書販売（株） TEL 043-312-2800
FAX 043-312-2847